<様式２>　　　・・・畜産試験場試験・研究課題事前評価表
・・・畜産試験場課題評価委員会

試験・研究課題名：
大課題名：　家畜ふん尿の有効利用と環境保全対策技術の開発
小課題名：　豚ふん尿由来の環境負荷低減技術の確立
細目課題名：
担当者名：　古屋　元宏

評　価　項　目	評価点	指　摘　事　項
1　課題設定の必要性（背景、社会的ニーズ）	５／５	県内養豚の振興、新銘柄豚の普及のためには、ふん尿処理における環境負荷の低減は不可欠であり、環境保全の面からも必要性は高い。
2　課題の新規性、独創性	３／５	ふん尿処理技術の課題は従来から他機関でも取組まれ個別技術は開発されているが、実証化試験のデータは少なくこの点は期待できる、
3　目的・内容の整合性、妥当性	５／５	研究の目的と実施内容には整合性がある。研究内容も妥当。
4　研究手法の的確性、技術的可能性	４／５	手法、技術的可能性には問題はないが、研究の実施項目が多いため、重点化や共同研究にするなど効率的な実験計画の立案、遂行が必要。
5　成果の期待度	５／５	県民に支持される健全な養豚経営のためにはふん尿処理における環境負荷の低減への期待度は高い。
総合評価	５／５	家畜ふん尿処理の課題は新規性はないものの、課題の必要性、期待度はたいへん高い。本研究では研究の実施項目が多いため、重点化や共同研究にするなど効率的な実験計画の立案が必要だが、実証化試験に取り組む点はたいへん評価できることから、総合評価は高い。

「注」　評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

　過去の研究成果および文献等を参考にし、効率的な実験計画を立てて取り組んでいくこととする。